●「札幌市 ICT 活用プラットフォーム DATA-SMART CITY SAPPORO」の開設について

札幌市では、2017 年 3 月に策定した「札幌市 ICT 活用戦略」に基づく、オープンデータの利活用を推進する取り組みとして、一般財団法人さっぽろ産業振興財団と共同で「札幌市 ICT 活用プラットフォーム」の構築を進めています。

このたび、プラットフォームに集積したデータを活用するウェブサイト「札幌市 ICT 活用プラットフォーム　DATA-SMART CITY SAPPORO」を 1 月 31 日に開設し、企業や大学などがオープンデータを活用しやすい環境を整備するとともに、市民の皆さまにも気軽にオープンデータに触れ、知っていただく取り組みをスタートします。

このウェブサイトは、過去の災害記録や将来推計人口など札幌市が保有するデータや、民間企業から収集したデータを分野別に簡単に見つけて利用できる「データカタログ」と、各種データを活用・分析し、人口動態や交通機関運行状況、イベント情報等を地図やグラフで分かりやすく表示する「ダッシュボード」などで構成されています。

このウェブサイトを市民や民間企業、大学等に活用してもらうことで、市民生活の利便性向上や、新たなサービスの創出、研究開発・人材育成等の活性化につなげていきます。

１　ウェブサイトの概要

(1) 名称：札幌市 ICT 活用プラットフォーム　DATA-SMART CITY SAPPORO
(2) 運用開始日：1 月 31 日（水）
(3) URL：https://data.pf-sapporo.jp/
(4) 更新頻度：随時
(5) 想定利用者：市民、民間企業、大学、研究機関等
(6) 掲載情報：行政・民間の各種データ（個人情報は含まない）
(7) 掲載データ数：約 100 データ（主なデータ一覧は別紙 1）
(8) 構築事業者：一般財団法人さっぽろ産業振興財団（理事長：秋元　克広）

DATA-SMART CITY
SAPPORO
▲ウェブサイトロゴマーク

２　ウェブサイトの主な特徴・機能（ウェブサイト全体イメージは別紙 2）

(1) 主な特徴

- 日常生活に役立つ情報コンテンツ（インフルエンザ、冬季道路情報等）や市民目線で情報をまとめたコンテンツ（保育園情報等）を提供する。
- 企業・大学等の多様なニーズに対応するため、収集したデータを分析したコンテンツを多数提供する。
- 複数の企業から提供された購買データ等をその企業間で共用し、比較・分析できる環境を整備する。

(2) 主な機能

① データカタログ

地域の防災活動に生かせる「避難所情報」やビジネスなどに生かせる「将来推計人口」など、収集されたさまざまなデータを防災、人口、交通、子育てなど 12 グループに分類・提供し、必要なデータを簡単に見つけてダウンロードすることができる。

② ダッシュボード

各種データを活用・分析し、人口動態や交通機関運行状況、市内のインフルエンザ等感染症の発生状況、イベント情報などを地図やグラフで分かりやすく表示する。

▲ダッシュボード画面イメージ（左：インフルエンザ等感染症マップ、右：おでかけマップ）

【ダッシュボードのコンテンツ一覧（予定）】

分類	コンテンツ	概要
札幌市勢	区別人口・生活環境マップ	札幌市の概況（人口、医療、公園、事故発生件数等）を地図とグラフで表示
地域・暮らし	車道路面の積雪情報・歩道のつるつる路面情報・冬季道路の幅員確保情報	車道の積雪状況や、歩道の滑りやすいポイント、一部エリアの幅員確保済み道路の情報を地図上に表示
子ども	保育園マップ	札幌市の保育所・幼稚園を地図上で表示
安心安全	インフルエンザ等感染症マップ	インフルエンザ患者数の発生状況と推移を地図とグラフで視覚化
経済	外国人観光客の滞留状況と購買状況の分析情報	民間企業が所有する購買データや人流データ等を活用した外国人観光客の取り込み状況を分析した結果を表示（※一般公開はサンプル表示）
環境	市内動植物マップ	市内で見られる動植物を地図上に表示
文化	おでかけマップ（観光・文化・スポーツ等の施設/イベント）	イベント開催予定や周辺の施設情報、文化財情報を地図上に表示
都市空間・交通	駅別交通状況	市営地下鉄の駅別乗客推移を地図上に表示
	交通機関運行情報	札幌市周辺の各交通機関の運行情報を一元化して地図上に表示

3 今後の予定

札幌市のオープンデータと民間企業から収集したデータが、活用しやすいデータ形式になるよう整備を進めるとともに、情報量を増やすなど、今後も拡充していく予定。

＜参考＞

- **札幌市 ICT 活用戦略**(https://www.city.sapporo.jp/kikaku/ictplan/)

  2017 年 3 月に策定。札幌が抱える都市課題を解決し、目指すべき都市像および未来の札幌の姿を実現するため、情報通信の仕組みやコミュニケーションの形態が大きく変化している時代に対応した ICT 活用を進めるに当たっての指針とするもの。

- **札幌市 ICT 活用プラットフォーム構築事業（別紙 3）**

  2017 年 12 月 14 日実施の一般財団法人さっぽろ産業振興財団による記者説明会資料参照。

問い合わせ先
まちづくり政策局政策企画部企画課（ICT 戦略推進担当）中村、八重樫
電話：211-2136、ファクス：218-5109

プラットフォームで提供するデータ

別紙１

プラットフォームで提供を予定しているデータ

- 札幌市保有データ（札幌市オープンデータカタログサイト掲載データ、札幌市公式ホームページ掲載データ等）
- 実証事業取得データ（インバウンド滞留×購買分析データ（限定公開）、交通機関遅延情報、路面情報、砂箱位置情報、緊急搬送者情報、歩数・属性情報、健康に関するアンケート情報等）
- 民間事業者データ

主な「札幌市オープンデータカタログサイト」掲載データ

カテゴリ	データセットのタイトル
札幌市勢	将来推計人口、性別・年齢別・居住区域別の人口・世帯、人口動態、人口移動実態調査
地域・暮らし	まちづくりセンター・出張所一覧、地域カルテマップ、石油製品小売価格調査結果、駐輪場マップ、市営駐車場、指定給水装置工事事業者一覧、国民健康保険料早見表、公衆トイレ位置情報
子ども・若者	認可保育所一覧、認可保育所入所状況、保育所等入所待機児童の状況、教育データ集（小・中・高等学校・特別支援学校）
安全・安心	交通事故発生状況、避難所位置情報、地震防災MAP、過去の災害記録、要介護認定の状況、予防接種委託医療機関、介護サービス指定事業者及び施設一覧、老人ホーム施設、応急給水拠点施設、拠点給水施設（緊急貯水槽・緊急時給水管路）、消防科学研究所の研究実績、火災発生件数、事故発生状況(危険物)、事故発生状況（LPガス）、第１種動物取扱業者名簿 札幌市衛生年報（人口動態、保健衛生、医療、環境衛生、食品衛生など）
環境	空間放射線量測定結果、公園緑地の統計、札幌市EMS実施結果（市全体のエネルギーデータ）、ごみ分けガイド、家庭ごみ収集日カレンダー、資源物の回収拠点、ゴミ袋等販売取扱店一覧、川の生物調査データ
都市空間	地区計画書・計画図
交通	都市交通に関するデータ（道路、自動車、JR、地下鉄、バス、路面電車、タクシー、空港、新幹線、輸送実績、駐車場）、路線図、時刻表、駅間所用時間・距離・駅構内図、乗車料金・定期料金、地下鉄区数表、主要地点の交通量と混雑度の経年変化、市内各輸送機関別乗車人員、JR駅別乗車人員経年変化、地下鉄駅別乗車人員経年変化、バス輸送状況、バス乗車人員と走行キロ数の経年変化、市営バスと民営バス（５社）の走行キロ数と乗車人員の経年変化、事業者別１日平均走行キロ数経年変化／事業者別１日平均乗車人員経年変化／事業者別分担率（平成26年度）、路面電車に関するデータ、タクシー運送状況、北の大地の新幹線、新幹線ルート図
その他	広報さっぽろ（全市版・区版）、市民アンケート、市政世論調査、庁舎管理課入札・契約情報、札幌市競争入札参加資格者名簿、札幌市告示（行政処分を受けた事業者）、投開票所一覧表

札幌市のオープンデータ、民間企業から提供いただくデータを追加し、掲載データは今後も拡充していく予定

札幌市ICT活用プラットフォーム ウェブサイトイメージ

別紙２

※ 実際のご提供画面は変更となる場合がございます

最上部
ピックアップした注目コンテンツを自動切替中央に表示する他、天気やSNS情報等を提供。

ダッシュボード
データを活用した地図やグラフで、札幌市の状況をわかりやすく提供。

データカタログ
分野別に分類したデータ検索結果へリンクすることで、必要なデータをすばやく容易に見つけることが可能。

データ利用状況
注目されているデータ、分野をランキング形式で表示。

別紙３

平成 29 年 12 月 14 日

報道機関各社 様

札幌市ＩＣＴ活用プラットフォームの取組について

一般財団法人さっぽろ産業振興財団

現在、当財団では、札幌市が策定した「札幌市ＩＣＴ活用戦略」のもと、札幌市におけるオープンデータの取組を推進するため、総務省の補助金を活用しながら、札幌市と共同で「札幌市ＩＣＴ活用プラットフォーム」の構築を進めております。

この「札幌市ＩＣＴ活用プラットフォーム」は、官民が保有するオープンデータやビッグデータを収集、管理するための基盤であり、今年度は、その基盤の構築に加え、それを活用する５つの実証を行い、基盤構築時の課題整理や機能検証を行う予定となっております。

今後、これらの取組が本格的にスタートすることから、その事業概要につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

１　取組の目的

官民のデータを収集・管理するための共通基盤を整備することにより、データ連携による多面的なデータ分析を容易に行えるようにするとともに、民間企業や大学等がデータを利活用する機会が向上することで、新たなサービスや研究開発等が活性化することを目指す。

２　取組の内容

取組の詳細は、別添資料のとおり。

３　取組の実施主体

一般財団法人さっぽろ産業振興財団（札幌市と共同運営）

４　今後のスケジュール（予定）

平成 30 年１月中旬　試験運用開始

平成 30 年４月１日　本格運用開始

【問い合わせ先】
一般財団法人さっぽろ産業振興財団
情報産業振興部（担当：和田）
電話：820-3533

札幌市ICT活用プラットフォームの取組について

平成29年12月14日

一般財団法人
さっぽろ産業振興財団
SAPPORO
ELECTRONICS & INDUSTRIES
CULTIVATION FOUNDATION

1. 札幌市ICT活用戦略（平成29年3月策定）

目指すべき都市像
（札幌市まちづくり戦略ビジョン）
- 北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち
- 互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち

未来の札幌の姿
（札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015）
- 誰もが安心して暮らし、生涯現役として輝き続ける街
- 世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街

ICTの活用により、「目指すべき都市像」、「未来の札幌の姿」の実現に寄与

札幌市ICT活用戦略の目標

Sapporo Value（札幌の価値）の創造と向上

地理的価値 ／ 人的価値 ／ 技術的価値 ／ 創造的価値

価値の創造

イノベーション・プロジェクト

＜位置付け＞
先進的・分野横断的な取組で、イノベーションの創出により新たな価値の創造につながるプロジェクト

＜構成＞
- イノベーションを生む「環境」づくり
- その環境のもとでの具体的な「事業」

＜具体的な取組＞
- データを収集、管理するプラットフォームを構築
- 札幌市IoT推進コンソーシアムとの連携
- 札幌駅前通地下歩行空間を先行的な実施エリアに位置付け、データ活用の取組を実施
- No Mapsにおけるイノベーション創出の実践と発信

価値の向上

ICT活用の基本施策

- 1-1　暮らしの質の向上（生活）
- 1-2　安全・安心の実現（生活）
- 2-1　産業の振興（経済）
- 2-2　多様な雇用と働き方の創造（経済）
- 3　人材の育成（教育）
- 4　効率的で信頼される行政（行政）

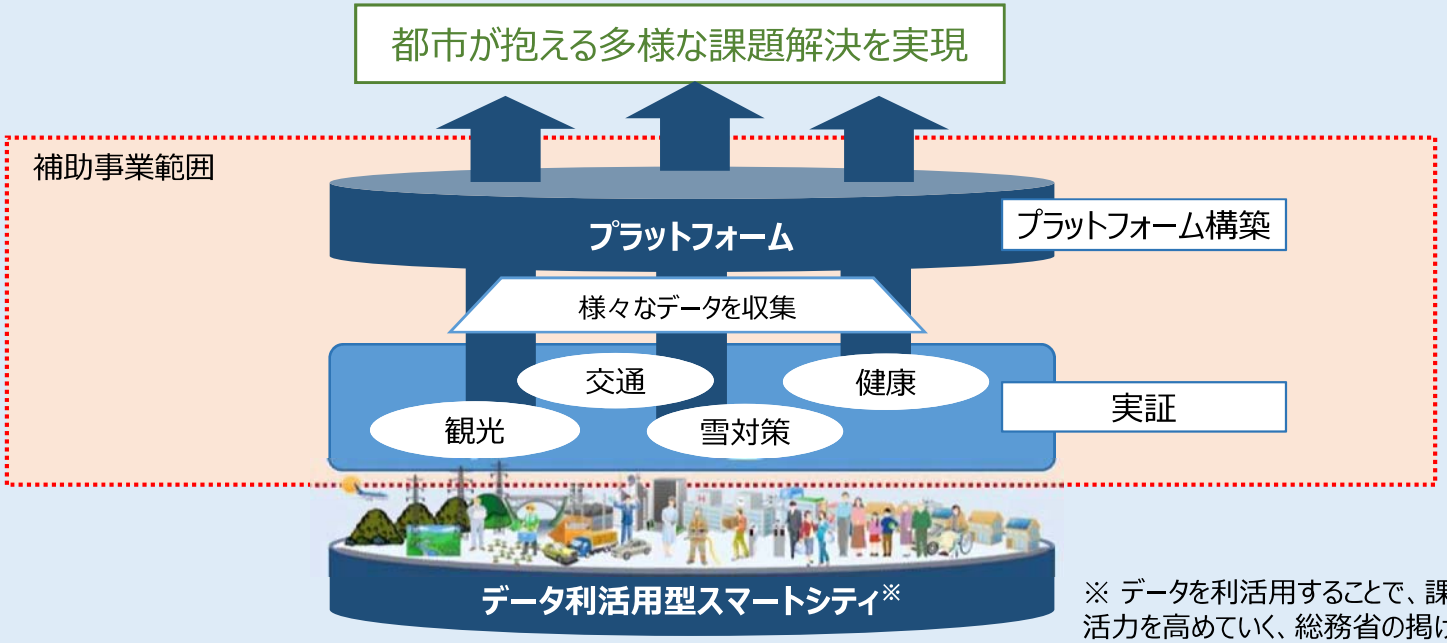
多様な価値を創造し、向上させた取組の成果を
内外へ積極的に発信していく

札幌がICT活用のトップランナーとして注目されることで、
さらなる価値の創造・向上につながる

2. 総務省データ利活用型スマートシティ推進事業

■総務省 データ利活用型スマートシティ推進事業

ICTを活用した分野横断的なスマートシティ型の街づくりに取り組む、地方公共団体等の初期投資・継続的な体制整備等にかかる経費の一部を補助。



※ データを利活用することで、課題を解決しつつ活力を高めていく、総務省の掲げる新たな都市像

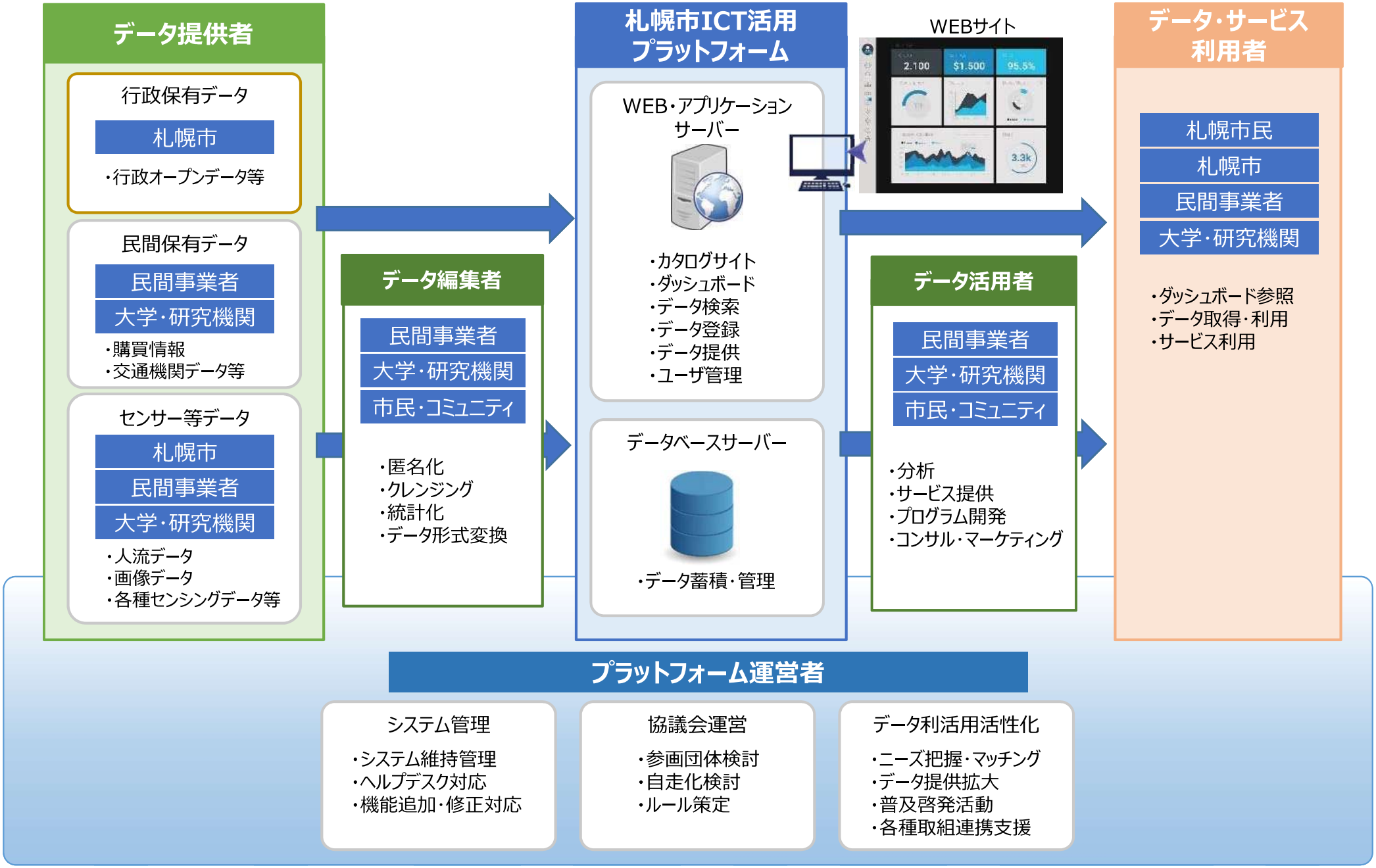
ICT活用戦略においては平成31年度のシステム構築に向けて検討することとしていたが、ICTの急速な発達・普及に対応するため、総務省の補助金を活用しプラットフォーム構築に向けた取組を加速させる。

■札幌市データ活用プラットフォーム構築事業

実施内容
- 官民のICT活用を推進するため、複数分野のデータを連携するプラットフォームを構築
- 行政の持つオープンデータや、複数分野の実証により収集したデータを蓄積

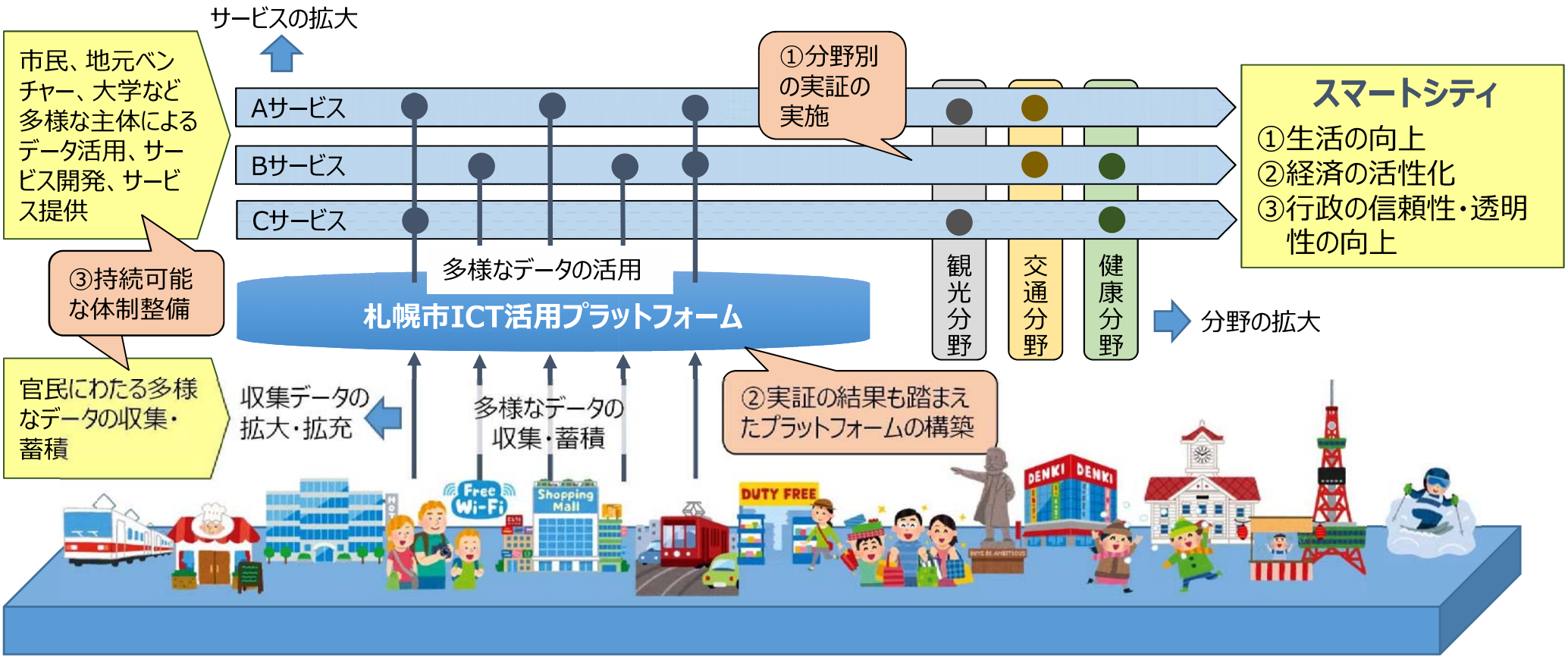
実施主体・事業費
- (一財)さっぽろ産業振興財団を事業実施主体とし、札幌市は事業費を補助
- 総事業費 1.2億円（総務省補助6,000万円、札幌市補助6,000万円）

3.1 札幌市データ活用プラットフォーム構築事業【プラットフォームの全体イメージ】



3.2札幌市データ活用プラットフォーム構築事業【実証事業】

プラットフォーム構築とあわせて複数分野の課題を解決する実証事業を実施



分野	観光A	観光B	雪対策A	雪対策B	健康A
実証名	インバウンドの周遊誘導及び消費拡大	観光客向け「交通情報一元化システム」	冬季プローブカーデータの収集・提供及びスマート除排雪	冬季路面情報の収集・提供及び砂まき行動促進	健康ポイント活用型市民健康活動促進
取組の概要	外国人観光客の滞留データや購買データ等を掛け合わせ、参加企業のマーケティングや営業戦略に活用	各交通機関の遅延情報を収集し、WEBや観光案内所等のデジタルサイネージで観光客に一元的に提供	路面状況や路肩の堆雪状況等により渋滞の発生要因を確認し、重点的に除排雪を行う実証実験を実施	市民から提供されたつるつる路面情報を広く周知するとともに、砂まき行動を促し、転倒事故の減少を企図	属性や活動量等のデータを取得・分析するとともに、歩数に応じたポイントを付与し、市民のウォーキングを促進

4.1 実証①【観光A】人流×購買データを活用したインバウンド向け消費促進/周遊促進サービス

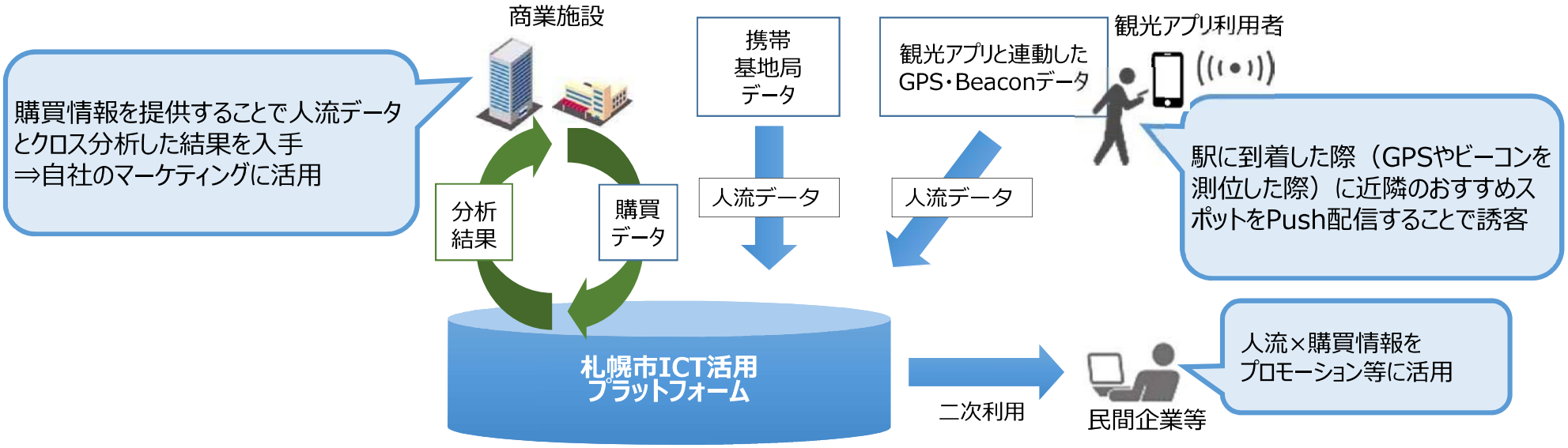
テーマ　民間企業が有効にデータを利活用できる仕組みの構築

課題
- インバウンドの滞在中の移動、購買行動等の把握
- 市内中心部に偏っている観光客の郊外施設等への誘客案内

取得するデータ
- 人流データ：携帯基地局データ、GPS、ビーコンの位置情報
- 購買データ：商業施設の購買データ

実証ポイント
- 人流・購買データの分析 ⇒ インバウンドの動態把握
  分析に基づいたマーケティングによる販路拡大、購買データ比較による自社販促（品揃え等）の検討、インバウンドの呼び込みのためのプロモーション検討
- 観光アプリ活用 ⇒　魅力ある郊外施設への誘導
  おすすめスポットに誘客するための施設情報、交通手段情報等の提供

概要図



4.2 実証②【観光B】観光客向け「交通情報一元化提供」サービス

テーマ　交通情報の集約と情報発信環境の整備

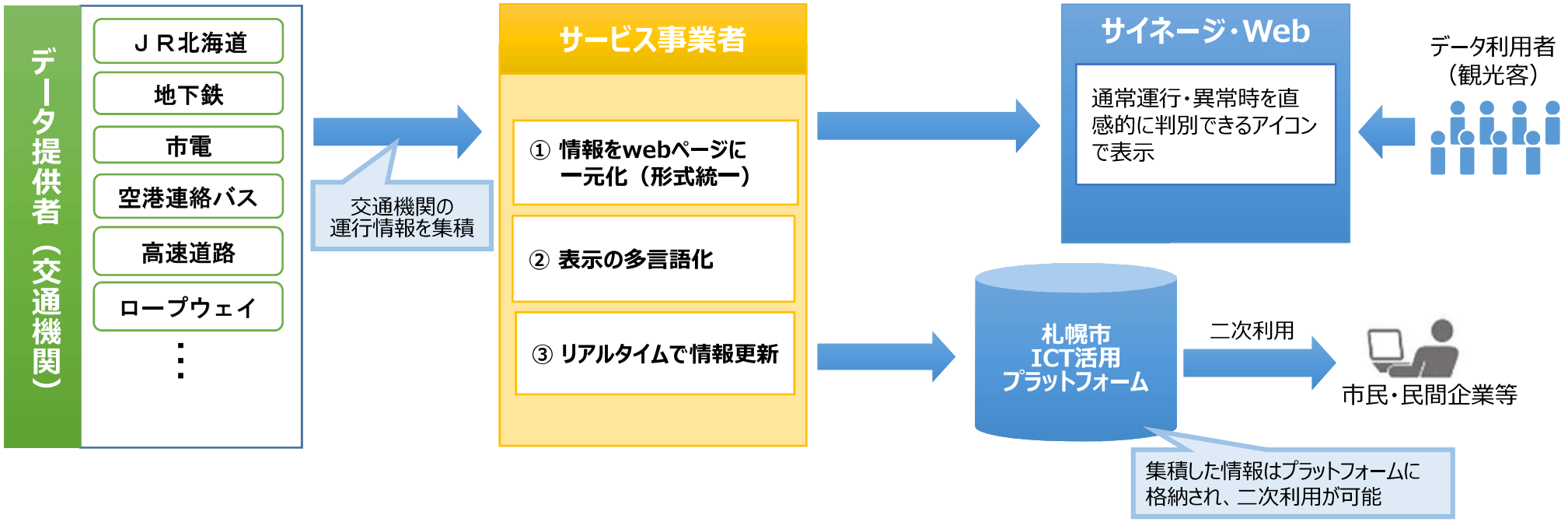
課題
- 荒天等の交通混乱時における、運行状況の一元的な把握
- 適切な交通情報を提供することによる観光客満足度の向上

取得するデータ
- 各交通機関の運行・遅延情報

実証ポイント

① 市内各交通機関の運行情報を集約。荒天・災害・事故発生時における遅延、運休情報を多言語に変換し提供
② 観光案内所やホテル等のデジタルサイネージやWebページなどで一元的に掲示
③ 集積した情報はプラットフォームに蓄積し、二次利用可能な形式で提供

概要図



4.3 実証③【雪対策A】冬季プローブカーデータの収集・提供およびスマート除排雪サービス

テーマ　ビッグデータを活用した効果的・効率的な除排雪のあり方検討

課題

・路肩の雪山や路面のわだち等による渋滞発生、交通機関運行状況の乱れ

取得するデータ

ゴミ収集車等に搭載したセンサーから路面情報（画像データ、位置データ、加速度データ、温度）を新たに収集

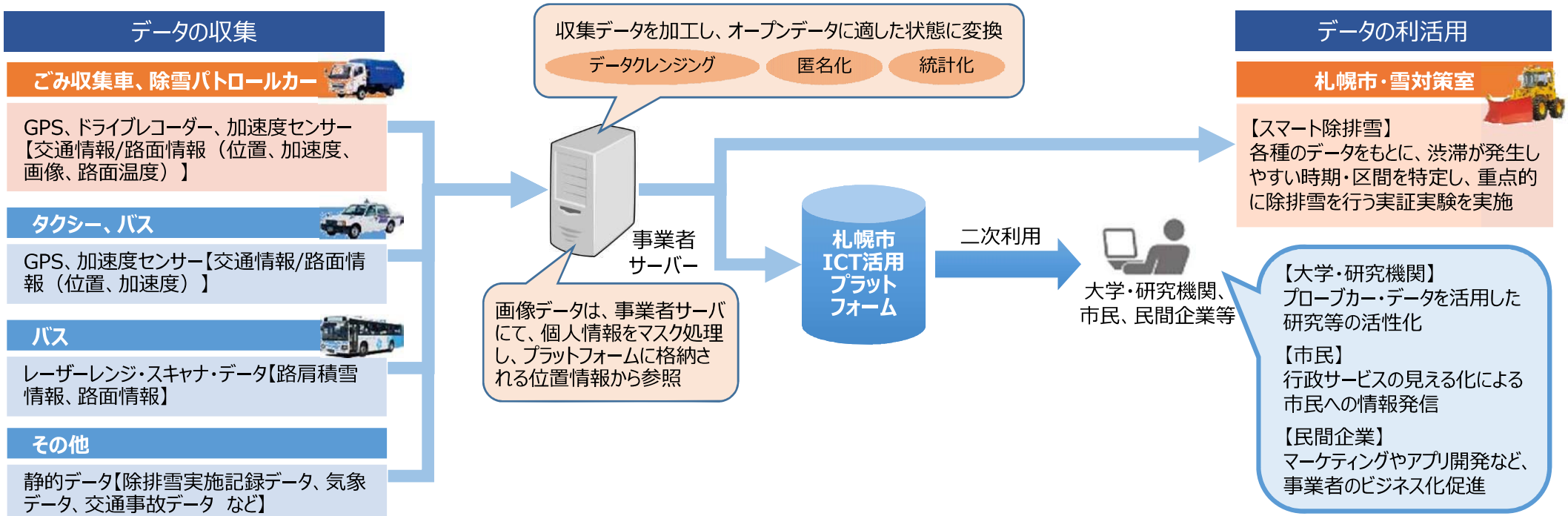
※ 別途取得する路肩積雪データ、GPSデータ、除排雪実施記録データ、気象データ、交通事故データ等も活用

実証ポイント

・収集したデータを分析し、渋滞が発生しやすい区間の特定を行い、降雪時にスポット的な除排雪を実施

⇒公共交通機関の定時性向上を確認

概要図



4.4 実証④【雪対策B】冬季路面情報の収集・提供および砂まき行動促進サービス

テーマ　市民との協働による滑り止め材散布の促進

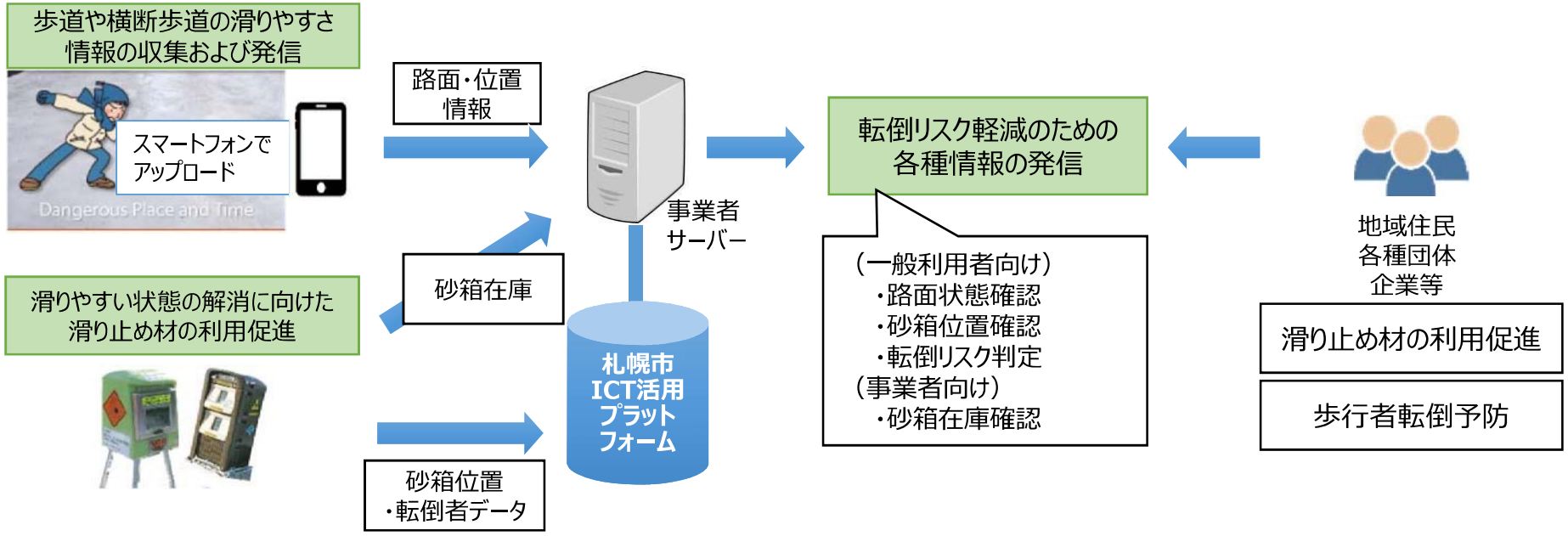
課題
- 冬季の路面凍結による歩行者転倒事故の防止
- 凍結防止の砂箱（滑り止め材）の認知・利用向上

取得するデータ
- 市内の砂箱の位置情報
- 歩行者転倒者情報
- 路面観察情報（市民等からアップロードされた情報を蓄積）
- 砂箱在庫情報

実証ポイント
- 市民からの情報発信による歩道路面状況の収集（協働の取組促進）
- 利用者の現在位置の状況を分析することによる、転倒リスク判定結果の表示による注意喚起
- 近隣の砂箱位置の表示による、市民による滑り止め材散布の促進
- 砂箱在庫情報を、定期的に砂箱補充者へ提供

⇒上記より、転倒者数の削減、転倒による緊急搬送者数の削減、効率的な砂袋補充作業を目指す

概要図



4.5 実証⑤【健康】健康行動促進を目的とするIoTによるビッグデータの収集と活用サービス

テーマ　健康活動状況や健康状態の可視化による健康意識向上

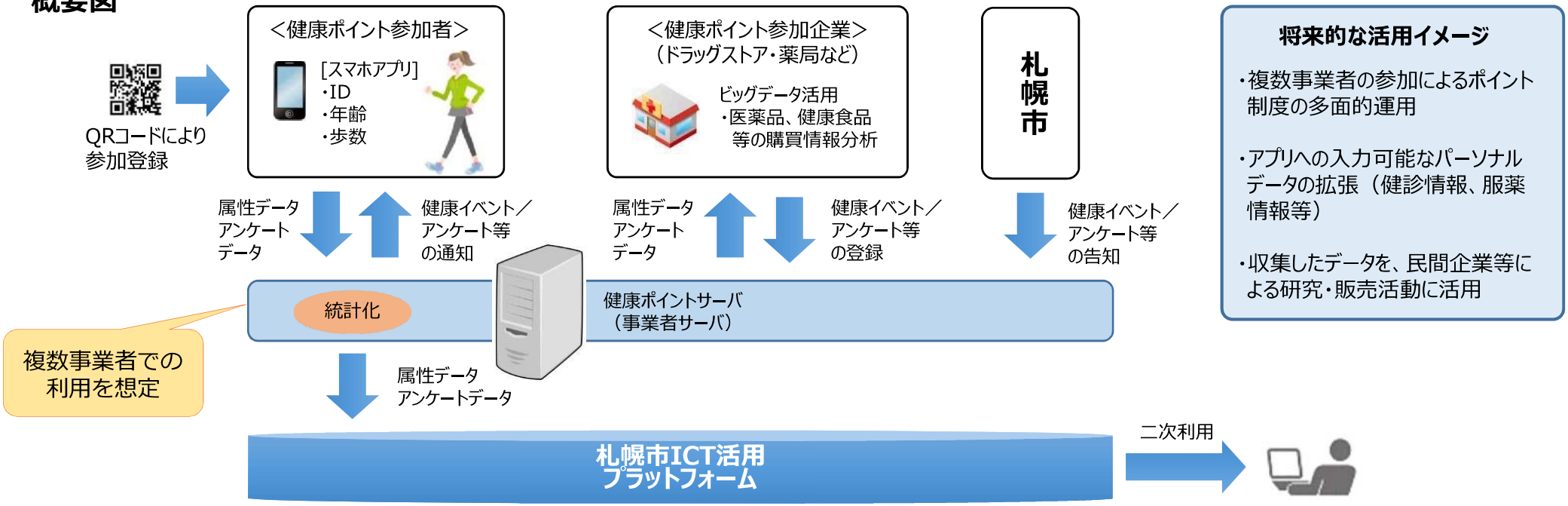
課題
- 若年齢層の健康意識向上
- 少子高齢化による将来的な医療費増加の抑制
- 市民の健康促進による生産年齢人口の確保

取得するデータ
- 属性情報（性別、身長、体重など）
- 歩行に関する活動量情報
- 健康行動の意識調査（アンケート）

実証ポイント
- 健康イベントと連携し、会員の登録、スマホアプリを利用したデータ収集の実施

⇒ 健康活動状況や健康状態の可視化による健康意識向上

概要図



5. お問い合わせ先

担当分野	実施主体	担当者	電話番号
取組全体に関すること（プラットフォーム運営者）	一般財団法人 さっぽろ産業振興財団	和田　康広	011-820-3533
取組全体に関すること（プラットフォーム共同運営者）	札幌市まちづくり政策局 ICT戦略推進担当	中村　敦哉	011-211-2136
プラットフォームの構築に関すること	株式会社 NTTデータ北海道	早川 佳希	011-281-7009
「実証①【観光A】人流×購買データを活用したインバウンド向け消費促進/周遊促進サービス」に関すること	一般社団法人 札幌観光協会	細川 慎平	011-211-3341
「実証②【観光B】観光客向け「交通情報一元化提供」サービス」に関すること	札幌商工会議所	村松 孝記	011-231-1330
「実証③【雪対策A】冬季プローブカーデータの収集・提供およびスマート除排雪サービス」に関すること	北海道大学 大学院情報科学研究科	猪村 元	011-706-7250
「実証④【雪対策B】冬季路面情報の収集・提供および砂まき行動促進サービス」に関すること	札幌総合情報センター 株式会社	和泉沢 武	011-816-7911
「実証⑤【健康】健康行動促進を目的とするIoTによるビッグデータの収集と活用サービス」に関すること	株式会社 リージョナルマーケティング	林 宣行	011-748-1303